

# 美祿来福センターで楽しく学びませんか？

美祿来福センターでは、いろいろなサークルが活動しています。  
サークル活動に興味のある人は、左記まで連絡してください。

| サークル名           | 内容         | 活動曜日    | 活動時間        |
|-----------------|------------|---------|-------------|
| 山口気功の会みね        | 気功練功及び講義   | 毎週水曜日   | 9:00~12:00  |
| 謙友岳風会           | 詩吟         | 第2・4水曜日 | 19:00~21:30 |
| 来福倶楽部           | パッチワーク手芸一般 | 第2・4火曜日 | 13:00~17:00 |
| 楽しい押花クラブ        | 作品作り       | 第3木曜日   | 13:30~15:00 |
| 草月流フラワー教室       | 生け花        | 第3土曜日   | 13:00~16:00 |
| 一葉流<br>いけばなサークル | 生け花        | 第4水曜日   | 19:00~21:00 |
| 美祿TTC           | ラージボール卓球   | 毎週火曜日   | 19:00~22:00 |
| 来福台卓球クラブ        | ラージボール卓球   | 毎週日曜日   | 13:00~17:00 |
| テナリー美祿          | ラージボール卓球   | 毎週木曜日   | 17:00~22:00 |
| 紅鶴書道教室          | 書道教室・しつけ   | 毎週水曜日   | 15:30~17:00 |
| 随泉書道教室          | 書道教室       | 毎週金曜日   | 17:00~20:00 |
| さくら会五月教室        | 銭太鼓        | 第2・4火曜日 | 9:00~12:00  |
| ノコフラ・オハナ来福台     | フラダンス      | 毎週土曜日   | 9:30~11:30  |

問合せ先 美祿来福センター ☎0837(52)5338  
社会教育課 ☎0837(52)5261

## 俳句と短歌 HAIKU TO TANKA

### 【美祿つぼみ句会】

葉桜の風に染まりて老人車  
民宿の朝は季節の浅蜷汁

末富千恵子  
藤本 寿和

### 【美祿あさぎり句会】

春落葉一つの役目辞退する  
梅ちぎる巫女緋袴ひるがえし

土屋 貞城  
上田あき良

### 【美東俳句会】

花蜜柑匂ふや暁の星ひとつ  
河の辺に光る自転車夏に入る

山野 宏子  
河崎 敏昭

### 【秋芳野火句会】

山椒の芽朱腕の中に香を放つ  
せせらぎや流れは静かに花筏

波多野深雪  
長谷 伸由

### 【ホトトギス秋芳句会】

カルストの芽吹き大地の動き初む  
霾りて大陸の香を運ぶ風

秋山安佐子  
末永よね子

### 【美祿短歌会】

厚狭川に散りゆく桜の花びらを  
くぐり浮遊す大きな鯉

茶川 貞代

我が愛車制限速度6キロに  
花曇りの里至福の走り

内田シズエ

戦前の日本に似たるよそのくに  
民の心情思いあらたに

川崎 一男

### 【秋芳短歌会】

白梅の未だ開かぬ山裾にタンポポの  
花平たく咲けり

前田 時博

競馬観てテキ喰ふ夜今日のみは肉食獣  
でありたりわれは

松原 正男

身に沁みる春寒乍ら不図庭に咲く  
梅見えてこころ灯さる

長 安喜子

写真で見る  
美祢市

3/26

旭日双光章 日裏信行氏

地方自治で永年の功績を認められ、日裏信行さん(西厚保町)が、旭日双光章を受章されました。

日裏さんは、昭和58年に旧美祢市議会議員として4期16年の永きにわたり教育福祉委員長などを歴任され教育文化の向上に貢献されました。

地元議員として美祢西インターチェンジ設置に寄与され又、美祢市農業委員も歴任されており美祢市の生活基盤の向上に尽力されました。

(篠田良穂氏及び石田源一氏は受章のみ記載)

旭日単光章 故篠田良穂氏(秋芳町)

旭日単光章 故石田源一氏(美東町)



## 消防庁長官から感謝状

東日本大震災の被災地に消防車両を提供した美祢市に消防庁長官から感謝状が贈られ、村田市長に坂田消防長が報告しました。

消防本部では、県内で唯一、同協会を通じて予備の小型動力ポンプ積載車1台を宮城県石巻市の消防団に寄贈しました。震災直後には、隊員4人が県の緊急消防援助隊として石巻市内で活動しました。

3/30



## 市内文化財紹介24

山神社の洪鐘

(美東町長登・市指定工芸品昭和54年指定)

山神社の洪鐘は、今から340年前に長登銅山の銅で造られた小型の梵鐘です。現在、国史跡長登銅山跡入り口付近にある山神社の拝殿軒下に吊られており、大きさは、総高96.3センチ、鐘身71.3センチ、口径55.7センチです。形は頂部を尖らせた円錐形になっています。

洪鐘の表面には211字の文字が刻まれており、その銘文によると、「江戸時代初め頃に長登の大切銅山の坑

内に泉が湧き、銅の採掘が出来なくなり困っていたところ、寛文11年(1672年)の夏、泉が乾き採銅が容易になったので、洪鐘を新鑄して山神に奉納した」と記されています。この洪鐘は寛文12年に萩の冶工郡司藤原信安によって作られたもので、信安は島根県出雲大社の銅造大鳥居の製作者でもあります。

問合せ先  
文化財保護課  
☎0837(53)0189

